

都市と農村をつなぐ5つの都市のニーズ

都市農村共生社会への
ブレークスルーポイントは何か！
都市と農村を結ぶプラットフォームづくり

都市と農村を結ぶ5つのニーズ

食と農

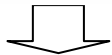
環境教育、自然体験

田舎暮らし・スローライフ

健康、癒し

文化、アート等

都市側
コーディネート



事業企画
PR、集客
参加者管理

多様な主体の連携体制

農村側
コーディネート



事業企画
地域資源(人、もの、情報)
コーディネート
受け入れ体制コーディネート

山梨県北杜市

埼玉県

増富地区

山梨県

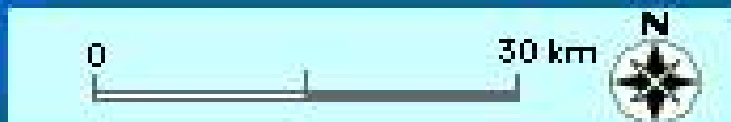
東京都

農村資源に、新たなニーズを結びつけて
バリュー(価値)をつけて、ビジネスモデルを創る。

都市と農村の交流を通じた
都市農村共生型の社会づくり

静岡県

えがおつなげでの紹介



活動拠点

山梨県北杜市須玉町の北端に位置する増富地域は、農業の衰退という範囲を超え、集落そのものの維持が困難になりつつある状況です。

西暦	1990年	1995年	2000年
農家戸数 戸	132	77	27
耕作放棄率	62.3% (38/61ha)		
高齢化率	58.4% (2003年)		

2003年 構造改革特区第1号認定

活動開始



増富都市農村交流センター
鉦泉みずがき
ランド



様々な都市と農村の交流活動

1. 農村ボランティアによる農地開墾、農業経営
2. 地域との連携によるグリーンツーリズム
3. 企業との連携による農村の仕事づくり
4. 大学との連携による自然エネルギー研究開発
5. 農村の伝統文化を活かした食育体験

遊休農地



遊休農地の開墾



農村地域に広がる遊休農地を賃貸し、全国から集まった延べ約500人／年の農村ボランティアによって人力で開墾を行い、約3haの農地が復活！

農村ボランティアによる遊休農地開墾

開墾前遊休農地



開墾中



開墾後の活動



開墾した農地での 野菜の生産 = えがおファーム

トマト



大豆



とうもろこし



花豆



ジャガイモ

ナス・ミニトマト

カボチャ

「黒森もいもい倶楽部」の取り組み



東京農工大学の
学生です！！

使われなくなった畑を活用して
農業、都市農村交流

開墾の様子

2005年10月



step1

草を刈る



Step2

根っこを抜く



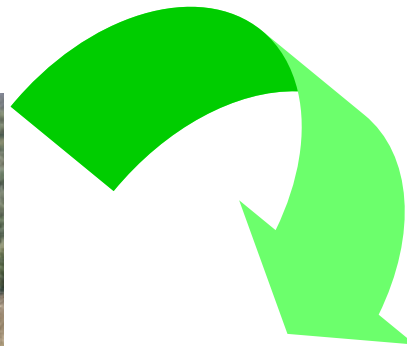
Step3

トラクターで
耕す

復活！！

2005年10月

before



開墾



after

黒森

小麦で

もいもい計画



開墾した畑を活用して、小麦を栽培

2006年4月

～8月



小麦農作業体験

2006年10月～



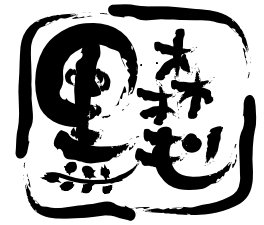
地元の方に
教えてもらいました

<ほうとうづくり体験>



地元の名人に
教えてもらいました

黒森 **小麦で** もりもり計画



農地の
維持管理

黒森に人が
集まる

交流

新しい
関係

活力

楽しい

黒森でみんな「もりもり」元気に！！

遊休農地を復活 (11面)



東京農工大学の大学生、大学院生が山梨県の山間地にある遊休農地を復活させ、小麦の栽培を始めた。

復 荒廃地耕し 活 山村に元気

学生ら農業を応援

東京農工大学東京都府中市の学生大学院生らが山梨県北杜市の山中の遊休農地を復活させ、農薬や化学肥料を使わずに小麦の生産を進め

山梨県北杜市

ている。できた農産物を販売し、地域活性化の手助けをしていく考え。大学生が農業で地域を活性化を目指すという取り組みは珍しい。



東京農工大学の学生らが遊休地を復活させた(山梨県北杜市)

このケルトは同大学

大学院博士課程2年で代表の弘重穂さん(25)ら8人でつづいた「黒森もりもり倶楽部」くらぶ。遊休農地の復活を進めている民間非営利団体(NPO)の勉強会をきっかけに、標高1100mにある北杜市須玉町小尾黒森集落の遊休農地40軒を借り受け、活動を始めた。同集落は65歳以上の高齢化率が6割にも達し、農地の3分の2が遊休化しているという。

昨年10月から荒れた遊休農地の「開墾」を始めた。草だけでなく、木の太い根が張っていて苦労したと弘重代表。遊休農地は畑に生まれ変わり、そこに小麦をまいた。

今回は小麦を付けたが、今後さまざまな作物

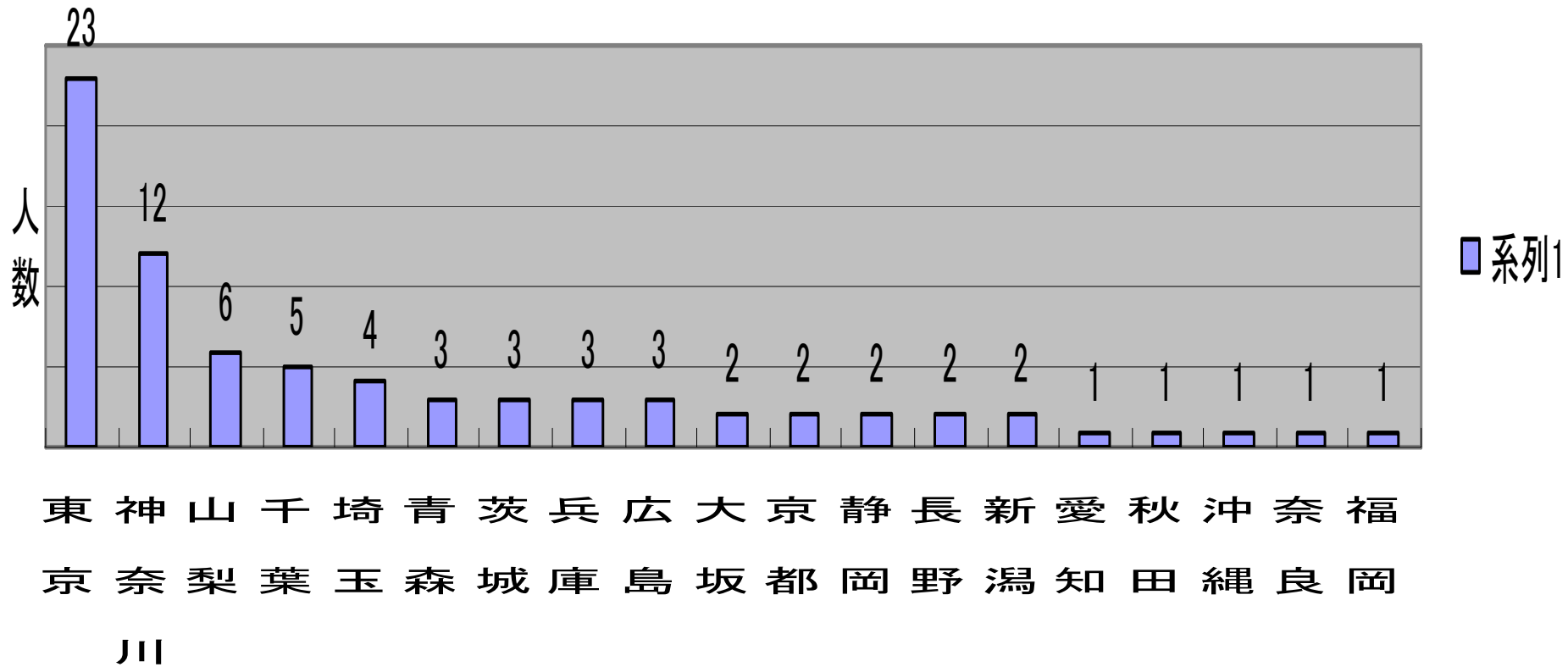
を栽培し、販売をする計画。弘重代表は「遊休農地を活用した農業をビジネスとして成功させ、地域活性化につなげたい」と意気込む。

地域住民も、「この地区でめったに見なかった若者を、よき見かけるようになった。元気があふれ、いさもしてくれる。なにより農地が生き返ったのがうれしい」と喜ぶ。ただし、課題もある。

倶楽部は生ゴミランチャア助成金制度を利用して得た資金と、メンバーの出資で運営しているが、財政的には厳しい状態だという。このために弘重代表は「知恵を絞って農業でもかるようにしたい」という。倶楽部では、活動に参加してくれる人を募集している。

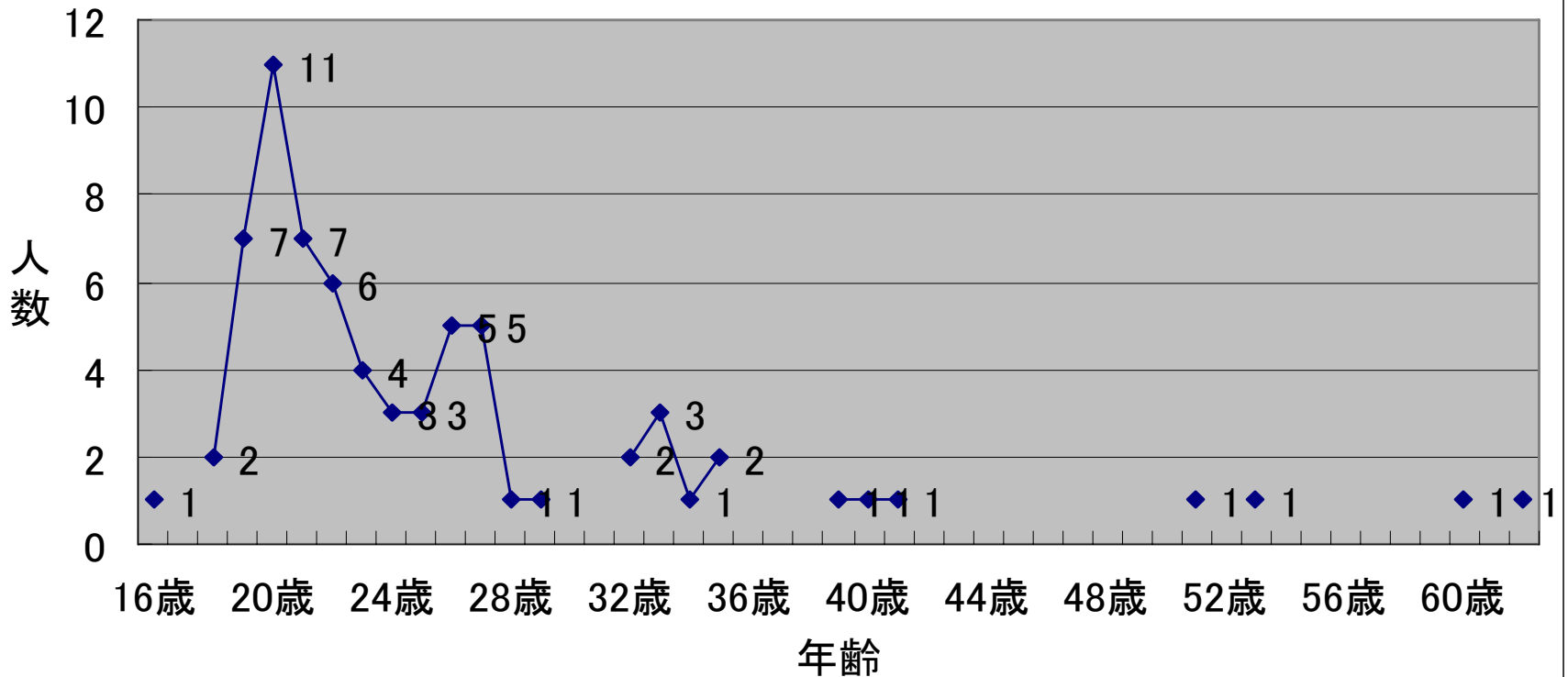
農村ボランティア応募 都道府県別人数(2004年5月～9月)

都道府県別応募人数

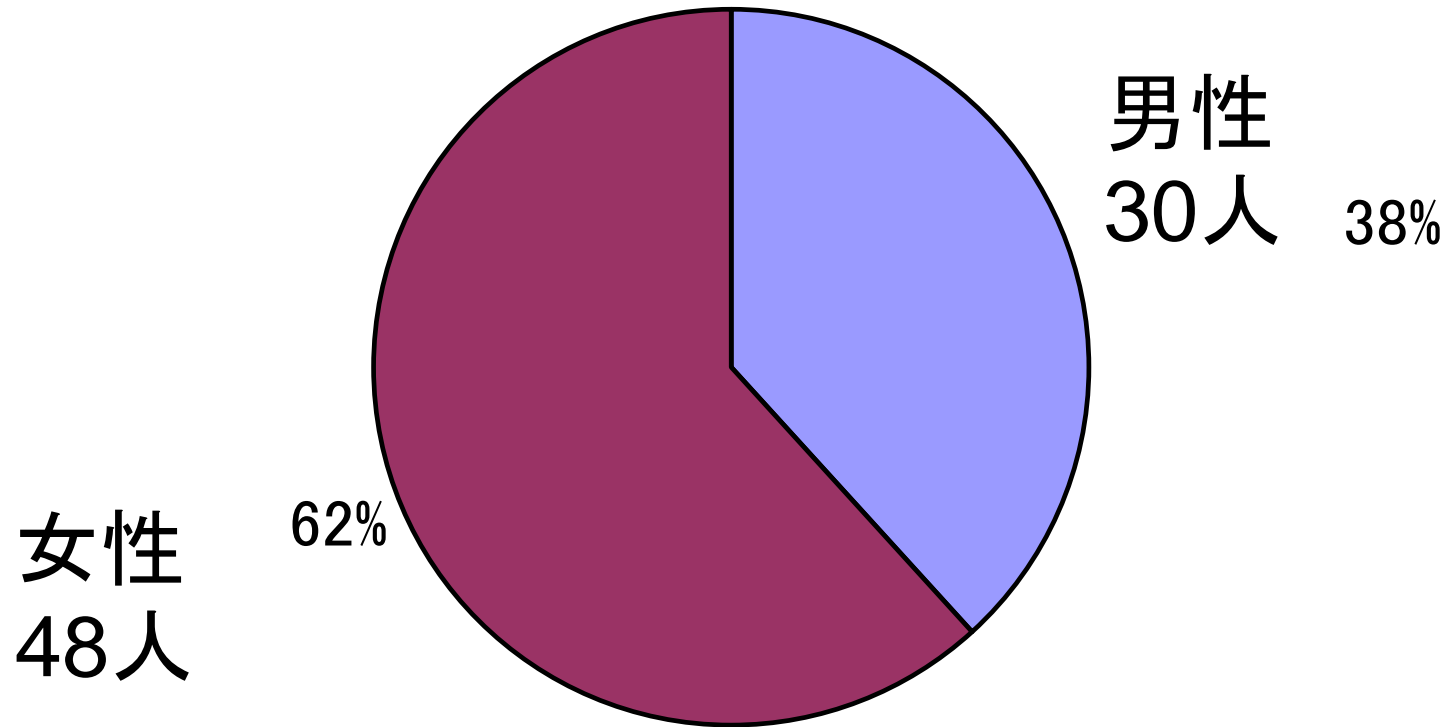


農村ボランティア応募 年齢別人数(2004年5月～9月)

年齢別人数



農村ボランティア応募 男女別人数(2004年5月～9月)



農村ボランティアの社会背景

- **フリーター人口417万人** (2001年内閣府統計)
- **ニート人口 85万人** (2005年内閣府統計)
- **ひきこもり世帯100万世帯突破**
- **若年失業率 9.5%** (2004年OECD統計)
- **大卒就職希望者 約60%**
- **7, 5, 3現象**
- **団塊の世代** (1947~49年生まれ) **700万人**
- **自殺者合計 3万人/年**

農村にある豊富な資源を活かして

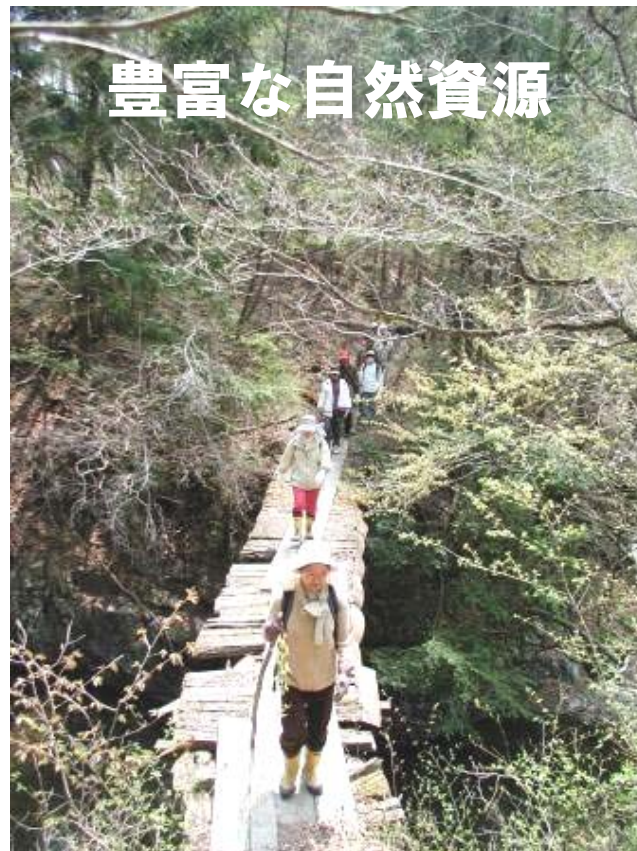
農地



森林



豊富な自然資源



高齢者の持つ農林業技術



山里での生活の知恵



地域との連携によるグリーンツーリズム

山菜採り



山仕事塾



林業・大工仕事体験。地元で調達した資材を使い、伝統的な技術で土壁の小屋作ります。

大豆から味噌をつくる行程をみなさんの手で!



収穫祭!手前味噌仕込み会

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月



都市農村交流キャンプ

みずがき山のふもとの農村でのキャンプ。親子で農業や農村に親しむ体験を!



6月4日(日)種まき
7月1日(土)草取り
8月6日(日)頃草取り
10月29日(日)収穫

大豆をつくろう



紅葉シーズン!日本百名山みずがき山に登って秋を満喫。

秋・みずがき山登山



種まきから収穫までを体験。自分で手掛けた大豆で味噌を仕込もう!



秋の山できのこをさがそう!



きのこ採り



企業との連携による 農村の仕事づくり



みずがき山からの贈り物



KUROMORI (黒森)
Tarte Framboise
(レンジは38ページ)

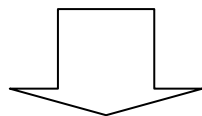
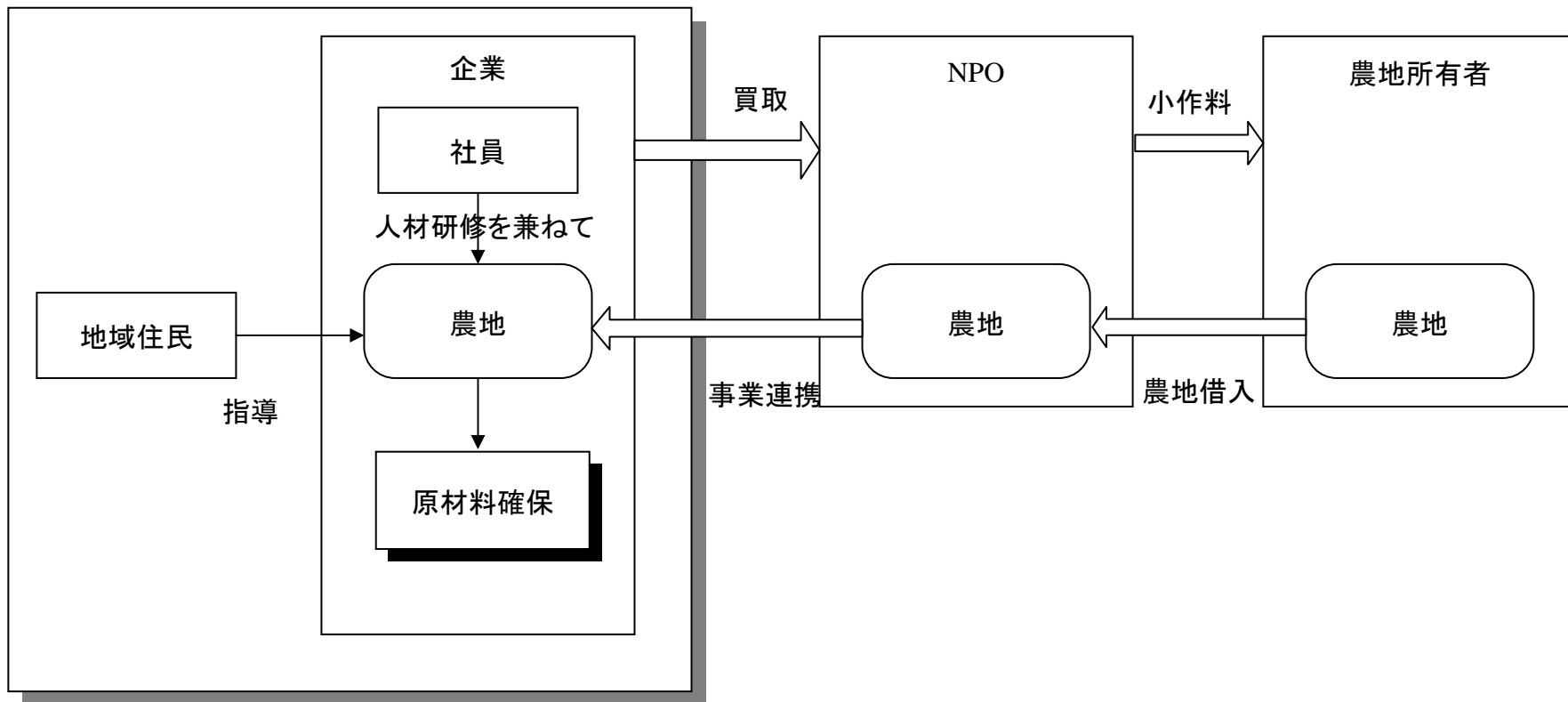


かぼちゃタルト

多摩のケーキ屋 グラックリュ

企業の畑

(企業のCSR志向、農村での事業展開志向、人材研修志向)



社員研修効果
企業イメージ向上



清月 青大豆

豆もち 豆大福



オーガニックスーパーとの事業提携



里山資源を活用した山の仕事づくり



林業体験

土壁づくり



在来工法による大工実習

